　「ｐｄ普及の会（ｐｄｐ）」支援のお願い

早くも初夏の候を迎えようとしております。

皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと思います。

平素よりNPO法人ジーピープログラムジャパン/通称ｐｄ普及の会（ｐｄｐ）の活動に多大なるご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、ｐｄｐの運営を託されました新理事会一同から当会の現状と今後の方向性を紹介申し上げるとともに、皆様のさらなるご支援を賜りたくお願い申し上げる次第でございます。

ｐｄｐは2002年に、それまでの学術団体であるAPLOと規格診療所グループであるOMUAの組織を引き継ぐ形で発足いたしました。特に、NPO法人GEPEC（2005年創設、共同創設者: Beach先生・Dougherty先生) 設立後は、GEPEC日本支部という立場を保ちつつ、広く歯科医師から一般市民を対象に「ｐｄ原理」と「0コンセプト」の普及に努めてまいりました。ｐｄｐは設立当初よりBｅａｃｈ先生からの情報提供の場やBeach先生同門会的な側面を色濃く持っておりましたが、一昨年Beach先生がご逝去なさってからは、真に「ｐｄ」と「0コンセプト」を普及するために特化した組織となるための改革を断行しつつあります。本年4月2日に理事会メンバーも一新し、5月からは従来のコースに加えて、歯科医師に向けに新しく立案したMouth Clinician Training Course (MCTC) を開始いたしました。

今後は、これまでの臨床応用コースについてもすべて見直し、究極的にはｐｄ環境を備えた数多くのｐｄクリニックを世に送り出すことを目指したいと考えております。これからも歯科臨床の場には、数多くの技術や機材が生み出されてくることと思います。しかし、時として人間主体の医療が置き去りにされ、その目的をも見失う可能性もあります。ふと気づくと検証を受けたｐｄインストルメントが企業の都合で廃版となったり、ｐｄ適合機器のバージョンが更新されるたびに、曖昧な方向に向っていることも散見します。さらに、歯科の技術の変化に伴い、世に出る目新しいものにはｐｄ条件からかけ離れたものも数多くみられます。

現在、ｐｄｐは会員数50余名です。NPO法人として、次の世代に「ｐｄの原理」や「０コンセプト」をベースとした歯科診療スタイルを継承していく事を目的として活動しています。しかし現在の会員数では、財政的にもひっ迫し、研究開発活動をはじめ、様々な案件を討議する活動でさえ支障が出始めております。今後も多くの資金と経験豊かな人材を必要とします。

そこで、これまで、Beach先生のお考えに共感することで、歯科医として道を外すことなく王道を歩んでこられた皆様にご理解を頂き、私たちの活動を支援いただきたくお願い申し上げる次第です。

新理事会では、これから数年間のｐｄｐの活動が将来のｐｄ普及のカギとなると考え、日々活発な討議と活動を始めました。その活動内容は、すでにｐｄｐのホームページ（ <http://www.pdp.sc/> ）にて最新の状況を紹介いたしております。

当ホームページを通じて、GEPEC、HPI研究会といった協力組織のとの情報リンクも簡単に可能となり、多くのｐｄに関する最新の情報が伝わるように更新いたしました。本年2月に行われましたGEPECの総会（於：タイ、チェンマイ）には世界中から数多くの参加者が結集し、3日間にわたりｐｄ普及のための今後の各国の取り組みと相互の協力について討議されました。また各国からｐｄｐに対し国際協力・支援を求める声も多くなってまいりました。

国内外にかかわらずBeach先生のこれまでの業績をさらに発展させるには私たちの力だけでは足りません。重ねて皆様のご参加とご支援をお願いいたします。

　まだ、ｐｄｐの会員でない方は、この際に是非、賛助会員または正会員として入会の上、活動にご協力、ご参加のほどをお願い申し上げます。

なお、当会に対するご寄付はいつでも受け付けております。

ご参考までに今年度の臨床コース案内、ｐｄｐ会員種別案内、ご寄付・ご出資の案内を同封させていただきました。

Beach先生は、今も、宇宙の遠いとこらから心配そうに私たちを眺められているように思えてなりません。

是非共、ご理解の上、私たちに皆様のお力を！！

敬具

平成30年6月吉日

NPO法人ジーピープログラムジャパン/通称ｐｄ普及の会（ｐｄｐ）

理事長　 三原　丞二

副理事長　 セティシャイ オパーシャイタツ

専務理事　　越智　豊

常務理事　　前村　学

理事　 　木村守隆

理事 中村 功

理事 橋岡　優

理事 塙　由紀子

理事 三島　賢郎

　　　　　　 監事　　　 小佐々　晴夫

監事　　 黒岩　保文

〒532-0011　大阪市淀川区西中島6-3-32　第２新大阪ビル６１１号

(Ｈ３０年8月1日より新住所)

　 Tel 06-6100-3800 （GPPJ）　 06-6100-3810 (ｐｄｐ)

Fax 06-6100-3801 (GPPJ/ｐｄｐ)

Email　[Info@gppj.net](mailto:Info@gppj.net)　（GPPJ）　　[Info@pdp.sc](mailto:Info@pdp.sc) (ｐｄｐ)

HP: http://[www.ｐｄｐ.sc](http://www.pdp.sc)

追伸：

Beach先生は晩年（2005年）国際NPO法人GEPEC（ゲーペック）を共同設立され、ご自身の知的財産のすべてをここで管理するように指示されました。

ｐｄｐは、その遺志を尊重するため、GEPECとより強固な連携をとることを目指します。その一環として、情報管理の徹底と活動の効果化を目指し、本年8月GEPECとｐｄｐの事務所を統合いたします。

電話、FAX番号の変更はございませんが、住所のみ表記通り変更となります。

コースのみならずｐｄに係るあらゆるお問い合わせに対応いたします。どうぞお気軽にご利用ください。